

提携米通信

2022年正月号・黒瀬農舎

新しい年もご支援宜しくお願い申し上げます。

皆さまご家族お揃いで佳い新年をお迎え頂いたことと存じます。

新年の干支は壬寅（みずのえ・とら）。

「壬寅」は「陽気を孕み、春の胎動を助く」冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるという。

干支は、非科学的な習わしとは云え、世の理（ことわり）を知り、未来に備えるために生み出された暦で、この数年のうっとうしい暮らしを強いられている私たちは、コロナ騒動の早い終息を願って、この暦を信じたいところです。

ところで、稲の花が咲く時期に低温になると花粉受精ができなかったり、穂が出てから低温が続くと遅延型冷害と呼ばれている稔り切れない稔実不良によって収穫量が半減、酷い場合は地域すべての田んぼが収穫皆無という冷害被害は、昔は、東北、北海道地方ではよく起こったと聞きます。

近世で一番大きな冷害災害は30年近く前の平成5年（1993年）の大冷害で、米不足で大混乱になりました。でも、この近世の冷害は、品種改良が進んでいたお陰で、昔のような低温による受粉不良や稔実不良という直接的な冷害被害は当地秋田県以南ではほとんど発生しなくなっていました。

しかし、低温によって、稲の病気（主に稲熱病）が多発するという間接的な冷害被害が発生しました。その実態は、農薬を使った田んぼは1割程度の減収でおさまった一方で、農薬を使わない田んぼは、ほとんどが半作以下、酷い場合はイモチ病に侵され収穫皆無という田んぼもありました。

冷害が来ない普通の年は、稲を健康に育てることに手間隙惜しまなければ、農薬をまったく使わなくとも何とか乗り切れるのですが、冷夏低温年には有機農家は恐れおののくこととなります。

壬寅年の新春にあたり皆さまのご健康と、農薬を使わないお米作りが今年も順調にできるように、稲作期間中の好天を祈る次第です。

提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

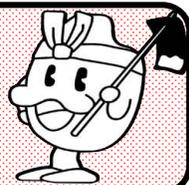
TEL: 0185-45-3088 FAX: 45-2887

E-mail: akita@kurose.com

Web:

提携米 黒瀬農舎

検索



★新米のご贈答利用もどうぞお願いします。

★定期購入の場合も変更や前倒しの出荷休止はいつでも対応いたします。変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までに連絡下さい。

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します（自宅兼事務所）。但し、電話受付の専任スタッフはいないため田圃や倉庫作業、外出の時は留守番電話対応となります。ご了承をお願いします。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性があります。迷惑メールやメールの設定をご確認下さい。

